



JAPAN SWIM 2022

**第98回 日本選手権水泳競技大会 OWS競技
兼2022年FINAマラソンスイミングワールドシリーズ代表選手選考会
兼2023年全豪選手権代表選手選考会**

監督者会議兼競技説明会

日時:2022年10月14日(金)

場所:ZOOM会議



第98回 日本選手権水泳競技大会 OWS 競技 監督者会議

- ・ 実行委員長挨拶 (公財) 日本水泳連盟常務理事 鈴木 浩二
- ・ 大会概要 (公財) 日本水泳連盟OWS委員会 木原 珠子
- ・ 代表選手選考 (公財) 日本水泳連盟OWS委員長 原 怜来
- ・ ドーピングについて (公財) 日本水泳連盟アンチ・ドーピング委員会 上原 任
- ・ 質疑応答

大会概要



< 1 日 目 > 2022年10月15日（土）10 k m

スタート時間：女子 8：30　男子 11:30

参加者数：男子 4 7 名、女子 2 6 名

	女子	男子
選手受付・給水竿検査	6:30～7:30	9:30～10:30
ウォーミングアップ	7:00～8:00	7:00～8:00
第二招集（最終競技説明）	8:10	11:10
競技開始	8:30	11:30
給水コーチ入場	競技開始後指示に従って入場	

表彰式は男女それぞれの競技終了後に行う

5 k m 公式練習は 14：00～14：30 に実施

大会概要



<2日目>2022年10月16日（日）5km

スタート時間：女子9：00　男子11：00

参加者数：男子65名、女子51名

	女子	男子
選手受付	7:00～8:00	9:00～10:00
ウォーミングアップ	7:30～8:30	7:30～8:30
第二招集（最終競技説明）	8:40	10:40
競技開始	9:00	11:00

表彰式は男女それぞれの競技終了後に行う

当日の受付案内



会場入りの際

検温、消毒「選手・スタッフ健康チェック表」提出

→検温済みリストバンドを手首またはADカードに巻き付ける

リストバンドは終日つけておくこと（選手は招集直前で切取可）

選手受付に確認するもの

＊本人確認（ADカード）＊健康チェックシート

＊競技で使用する水着（持参可）、キャップ、ゴーグル

＊手足の爪＊装飾品

招集の際

マスク着用でADカード、配布した選手バッグを持参の上、トランスポンダーを両手首に装着すること

給水関係諸注意



＊**桟橋入場は男女各スタート時間から（女子8:30 男子11:00）**

＊**コーチは桟橋入口にて選手ナンバー順に列を作って並ぶこと**

＊**給水エリア内での撮影は禁止とする**

＊**給水エリアからものを投げ入れてはならない**

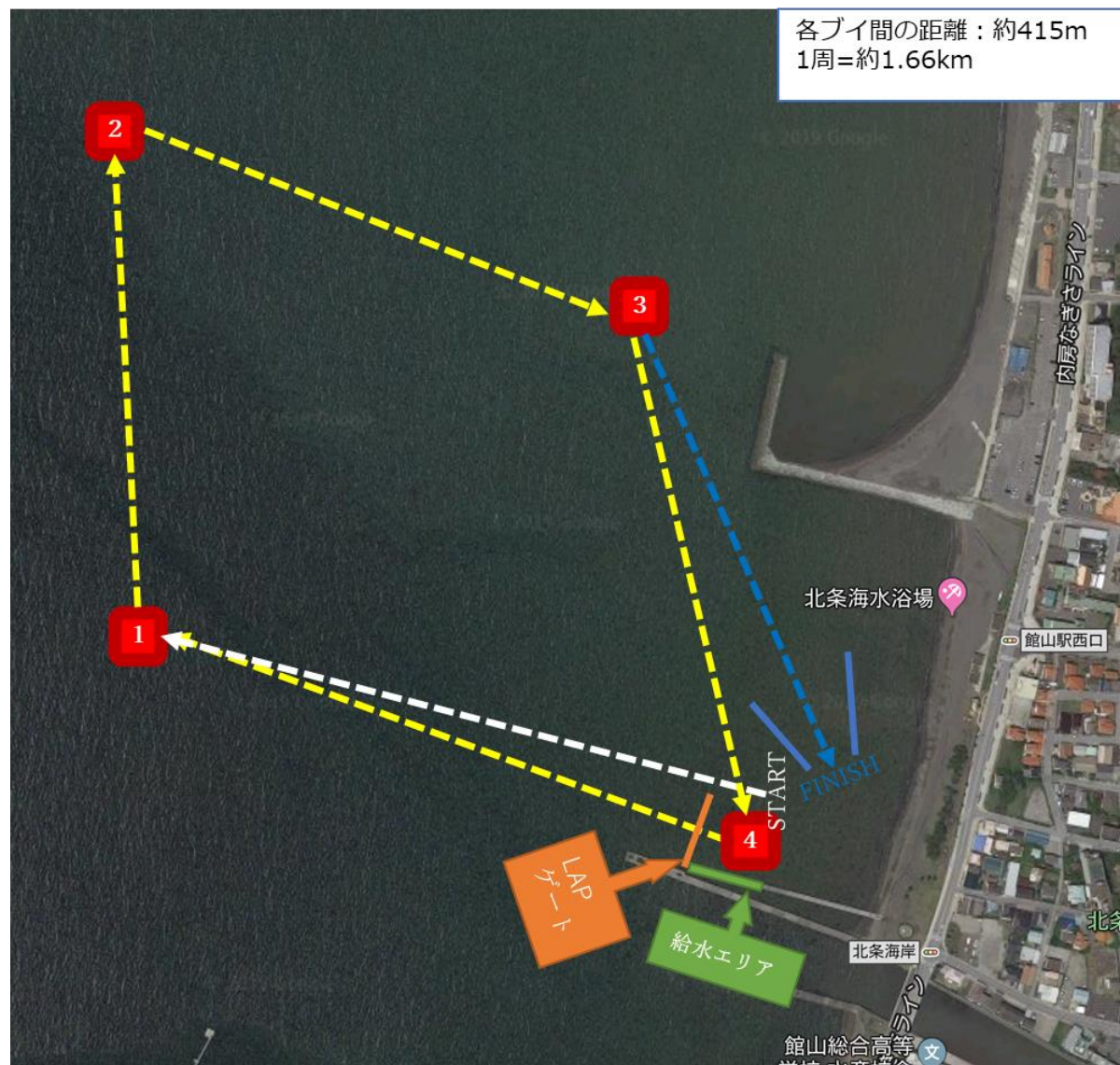
＊**上記他給水コーチに違反行為があった場合、当該コーチではなく、競技者本人にイエローカード、またはレッドカードの処分が課せられる（OWS3.6および6.3.1）**

＊**給水エリア内はマスク着用とし、大声は慎むこと**

＊**海上に浮遊するコップ、ボトルなどのごみは各自で回収、処分すること**

＊**給水の際は他者と譲り合って行うこと**

大会コースレイアウト



10km : 1.66km×6周回

5 km : 1.66km×3周回

ウォームアップ(各指定時間のみ)

日本選手権 コースレイアウト図

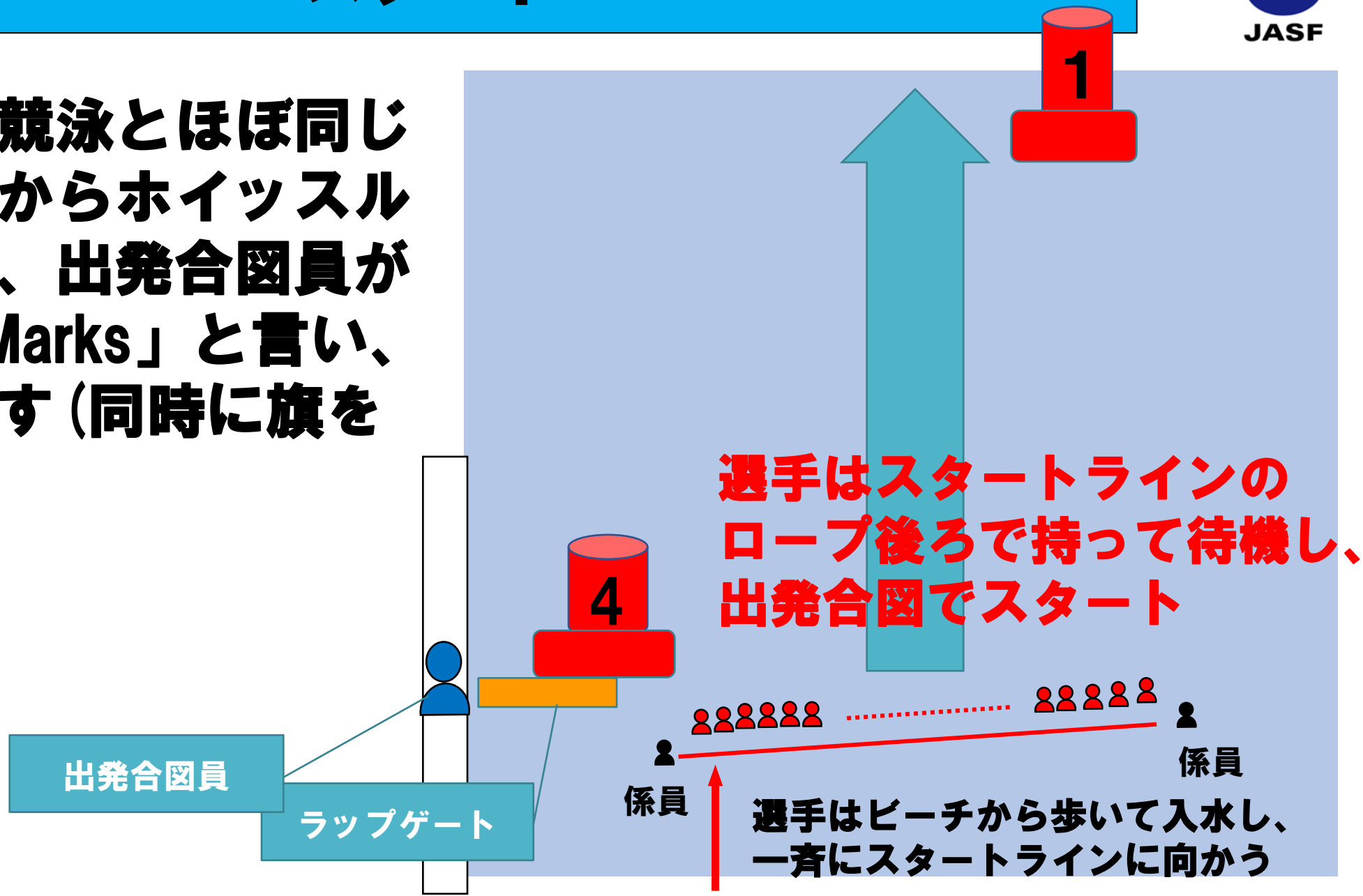


- Finishゲート～砂浜周辺
Finishゲート通過の確認が可能。
- 1～4ブイ間 時計回りとする。
LAPゲート通過の確認が可能。
給水の受け渡しの確認が可能。

- ※当日の天候や海況により変更になる可能性がある。
- ※ゲートや給水エリアでは他の泳者と譲り合って使用すること。
- ※海上ではスタッフ、ライフセーバーの指示に必ず従うこと。

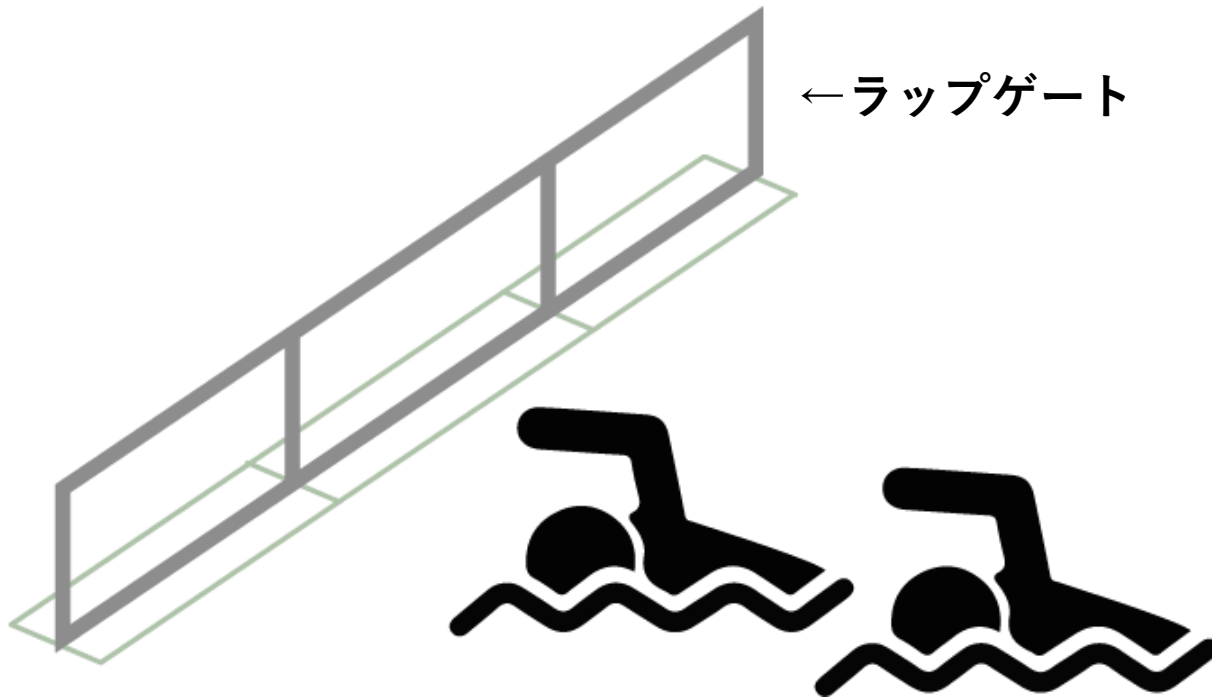
スタート

＊スタートは競泳とほぼ同じ
船上の審判長からホイッスル
が鳴った後に、出発合図員が
「Take Your Marks」と言い、
ホーンを鳴らす（同時に旗を
下ろす）。



ラップゲート

- ・ 給水栈橋の先端付近にラップゲートを設置する。
- ・ 選手はスタート時を除き、周回毎に必ずラップゲート内を通過しなければならない。



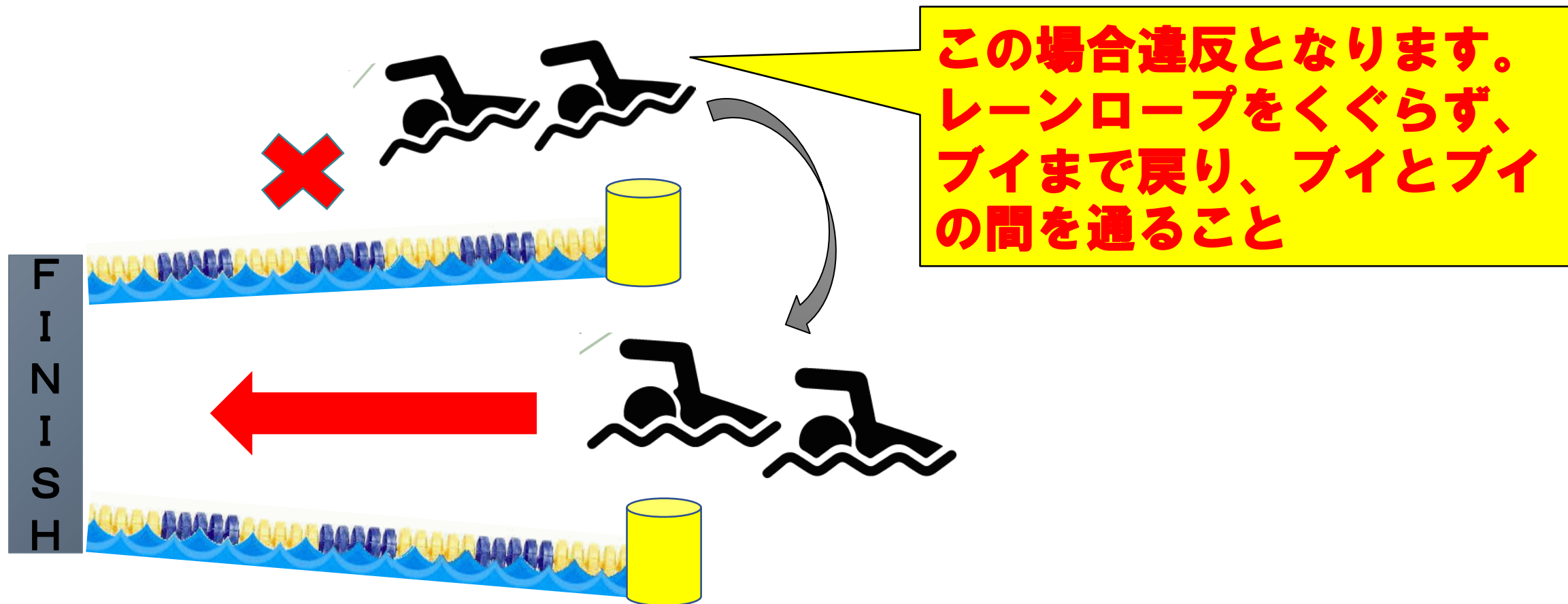
ゲートの下を通過すること



フィニッシュ①

- 必ずレーンロープ先端のブイとブイの間を通過してフィニッシュゲートに向かうこと。

レーンロープをくぐる行為は違反となります。



フィニッシュ②



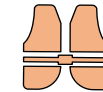
- ・フィニッシュはタッチ板に確実に手のひらでタッチすること。
- ・レース時にトランスポンダーを紛失しても、左右どちらかに1個が装着されていればフィニッシュを認める。

＊紛失時(1つでも)は、参加者の実費負担とする。

ボート・ライフセーバーの配置



ライフセーバー(レスキューボード)



ライフセーバー(水上バイク)



審判艇・監視艇(船舶)

荒天時の対応



**＊競技実施については、天候状況により、
「10月15日(土)～10月16日(日)2日間の大会期間の中で、
競技開始時間・コース・距離を変更して行う」
ことがある。**

**＊競技実施の可否および競技方法の変更などについては、
当日朝6時に決定し、本連盟HP内OWS委員会「お知らせ」欄
にて通知する。**

緊急中止について



***緊急中止の際は、審判長から合図を送る。合図があったら、一番近くのブイまで泳ぐこと。その後はライフセーバーの指示に従うこと。**

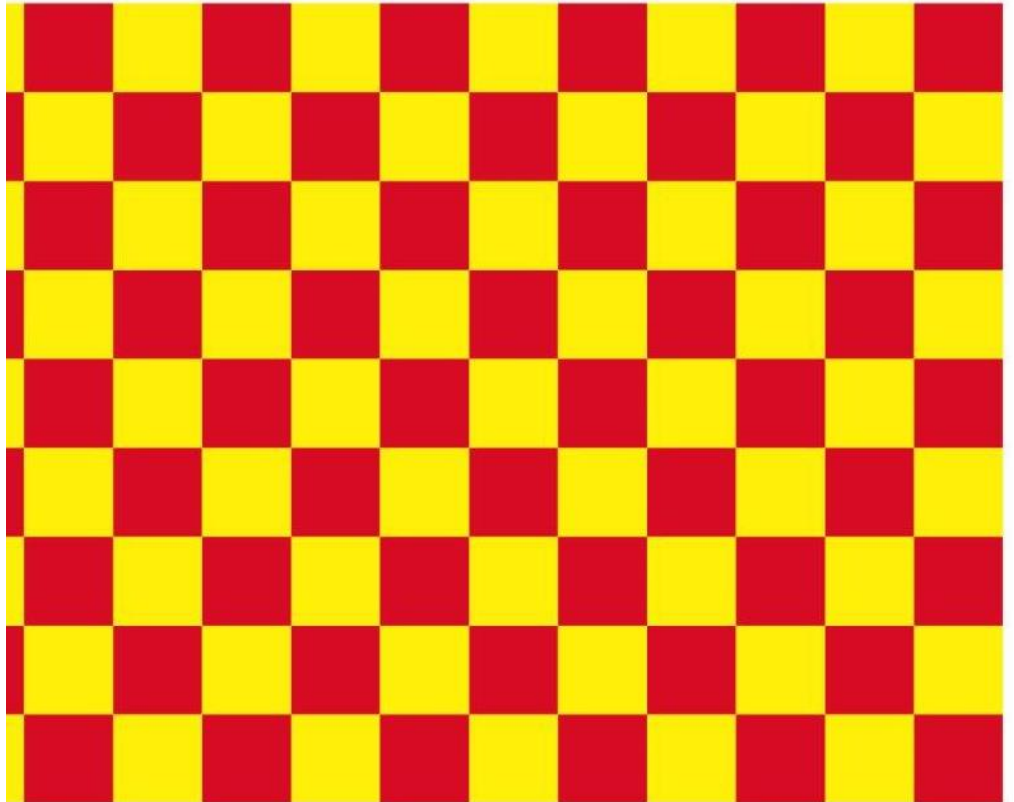
***緊急中止になった場合でも、退水時にドーピングコントロールデスクでトランスポンダーを返却し、ADカードを受け取ること。**

***緊急中止となり、かつ再レースが不可な場合は、直前のラップゲートの順位を最終順位とする。**

緊急中止の合図

審判艇よりフォーンを複数回鳴らします。

また、赤黄の旗を審判艇に掲げると共に、審判長からも赤黄の旗で合図を行います。



リザルト速報



＊大会終了後にリザルトが確認できます。

「セイコースポーツリンク」のアプリをダウンロードしてからリザルトを確認してください。





スマホから
競技結果がすぐわかる！

**リザルト
速報
配信中！**

第98回日本選手権水泳競技大会 OWS競技



＜＜＜ QRコードから簡単アクセス！

- ・QRコードを読み取るには専用のアプリをダウンロード下さい。
- ・QRコードが利用できない場合はアドレスを直接入力してください。

<https://seikosportslink.com/pdf/002/index.html?i=20007858>

セイコースポーツリンク 検索

セイコータイムクリエーション株式会社

JASF



水温チェック



**レース2時間前の水温チェックのご協力
をお願いします。**

（10/15,16 各日程1名）

選手選考について①



◆2022年FINAマラソンスイミングワールドシリーズ・エイラート大会 (イスラエル・エイラート／2022年11月11～12日)

1. 選考競技会を下記大会とし、選考競技会が荒天時の場合は大会要項に記載の「荒天時の対応」に従う。

・第98回日本選手権水泳競技大会OWS競技10km

2. 選考は、2022年FINAマラソンスイミングワールドシリーズ大会競技規則に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会があたり、編成方針（日本水泳連盟が決定する）に沿って総合的な判断により選考する。

3. 編成人員は男女最大各3名とする（選考日は未定）。

＊男女各上位2名は選考されるが、3位の選手は1位から1分以内のみ派遣とする。

選手選考について②



◆2023年全豪選手権（オーストラリア・パース、2023年1月25～28日）

1. 選考競技会を下記大会とし、選考競技会が荒天時の場合は大会要項に記載の「荒天時の対応」に従う。
 - ・第98回日本選手権水泳競技大会OWS競技5km
2. 編成人数は、選考競技会における男女各2名とし、平成15年4月2日以降に生まれた者の中とする。
3. 選考は、日本水泳連盟選手選考委員会があたり選考する（選考日は未定）。
4. 編成方針（日本水泳連盟が決定する）に沿って、総合的な判断により選考する。

選手選考について③



◆第20回FINA世界水泳選手権競技大会（OWS）（日本・福岡／2023年7月）

1. 選考競技会を下記大会とする。

【10km競技】2022年FINAマラソンスイミングワールドシリーズ・エイラート大会10km

【5km競技】第98回日本選手権水泳競技大会OWS競技5km

2. 選考は、第20回世界選手権大会競技規則に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会があたり、編成方針（日本水泳連盟が決定する）に沿って総合的な判断により選考する。

3. 参加有資格者、及び男女別年齢区分毎の選考人数枠は下記の通りとする

【10km競技】年齢区分なし：男子2名、女子2名

【5km競技】平成15年4月2日以降に生まれた者：男子2名、女子2名

3. 編成人員は各種目男女各2名とする（選考日は未定）。

***リレーへのエントリーは、競技日程が出た後に検討する。**

選手選考について④



◆第19回アジア競技大会（OWS）（中国・杭州／2023年9月23日～10月2日）

1. 選考競技会を下記大会とする。
2022年FINAマラソンスイミングワールドシリーズ・エイラート大会10km
2. 選考は、第19回アジア競技大会競技規則に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会があたり、編成方針（日本オリンピック委員会が決定する）に沿って総合的な判断により選考する。
3. 編成人員は日本オリンピック委員会の内示をもって対象とする。

安全について



- ・（公財）日本水泳連盟 OWS 競技に関する安全対策ガイドラインに則り実施する。
- ・（公財）日本ライフセービング協会から派遣されたライフセーバーが海上でガードする。
- ・棄権の場合は、大会本部に申し出ること。
- ・途中棄権の場合は、ライフセーバーに申し出てその指示に従うこと。
- ・緊急時には競技役員、係員の指示に従い避難すること。
- ・競技中、伴漕するライフセーバーに選手を先導する役割はない。なお、明らかなコースアウトと判断された場合には“善意の第三者”として方向修正等のアドバイスを行うことがある。

ドーピングについて



チーム受付にて配布の資料を確認しておくこと。